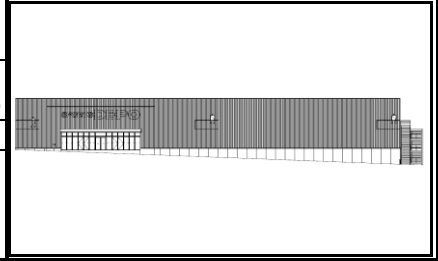




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)札幌月寒計画新築工事	階数	地上3F
建設地	札幌市豊平区月寒中央通2丁目314-5、314-6、315-2、315-8、315-14、札幌市豊平区月寒西1条2丁目	構造	S造
建物用途	物販店,工場,	平均居住人員	- 人
竣工年	2025年9月 予定	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
敷地面積	6,598 m <sup>2</sup>	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	3,829 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2024年10月16日
延床面積	9,677 m <sup>2</sup>	作成者	
		確認日	2024年10月17日
		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★ **B+**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健)	2.1
4(教育)	2.0
5(ジェンダー)	3.0
6(水・衛生)	2.2
7(エネルギー)	2.7
8(経済・雇用)	1.9
9(インフラ)	2.6
11(都市)	1.9
12(生産・消費)	2.3
13(気候変動)	2.2
15(陸上資源)	1.6
17(実施手段)	2.1

\*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 4  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 1  
LR3 敷地外環境: 1

### 2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.62**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.5

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 2.9

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.0

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 1.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 4.0

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.0

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b> 省エネ性能を高めた計画とした。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b> 高効率機器を採用し、設備システムの高効率化に努めた。</p>
<p><b>B 省資源等</b> ライフサイクルCO2排出率を抑制することで、地球温暖化防止に配慮した。</p>	<p><b>C 緑化</b> 特になし。</p>
	<p><b>D 書処理</b> 特になし。</p>

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	-	LEED認証	なし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能	-		3.0	1.00	-	-	-
2	界壁遮音性能	-		-	-	-	-	-
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-		-	-	-	-	-
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-		-	-	-	-	-
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
1	室温	-		3.0	0.46	-	-	-
2	外皮性能	省エネ		1.0	0.19	-	-	-
3	ゾーン別制御性	-		3.0	0.35	-	-	-
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 屋光利用								
1	屋光率	-		-	-	-	-	-
2	方位別開口	-		-	-	-	-	-
3	屋光利用設備	省エネ		3.0	1.00	-	-	-
3.2 グレア対策								
1	屋光制御	省エネ		-	-	-	-	-
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質	ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を採用		4.0	1.00	-	-	-
4.2 換気								
1	換気量	-		3.0	0.50	-	-	-
2	自然換気性能	-		-	-	-	-	-
3	取り入れ外気への配慮	-		3.0	0.50	-	-	-

4.3 運用管理				4.0	0.20		-	
1	CO <sub>2</sub> の監視		-	3.0	0.50		-	
2	喫煙の制御		建物内禁煙	5.0	0.50		-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	3.0
<b>1 機能性</b>				2.7	0.40		-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1	広さ・収納性		-	-	-		-	
2	高度情報通信設備対応		-	-	-		-	
3	バリアフリー計画		-	3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30		-	
1	広さ感・景観		売場の天井高:3.6m以上	5.0	0.33		-	
2	リフレッシュスペース		-	2.0	0.33		-	
3	内装計画		-	1.0	0.33	1.0	-	
1.3 維持管理				2.5	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		-	3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		-	2.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-	3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		-	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	-	2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	給水:B、汚水・雑排水:B、消火C	5.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		-	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		-	2.0	0.20		-	
3	電気設備		-	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		-	3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		-	3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>				3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり		階高:3.9m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		[壁長さ比率:0.08]<0.1	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.30		-	

3.3 設備の更新性				3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		-	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		-	3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.33		-	1.4
1 生物環境の保全と創出		緑化	-	1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑化	-	1.0	0.40		-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		雪処理	-	2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		省資源 緑化	-	3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性								3.5
LR1 エネルギー				-	0.40		-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI <sub>m</sub> = 0.86 品確法= モデル建物法(省エネ適判)	4.4	0.20		-	4.4
2 自然エネルギー利用		省エネ	-	3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネ	BEI <sub>m</sub> = 0.62 モデル建物法(省エネ適判)	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用				2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	-	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-	1.0	0.50		-	
集合住宅の評価							-	
4.1	モニタリング	省エネ	-				-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-				-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			-	3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		-	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60		-	3.0
2.1 材料使用量の削減		省資源	-	2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源	-	3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	-	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源	-	2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		省資源	外装材+LGS+内装材	4.0	0.20		-	

<b>3</b>	<b>汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	<b>3.0</b>	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70		-	
	1 消火剤	省資源	-	-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	省資源	-	3.0	0.50		-	
	3 冷媒	省資源	-	3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					<b>0.30</b>		-	<b>3.4</b>
<b>1</b>	<b>地球温暖化への配慮</b>	省資源	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して69%以下	<b>4.2</b>	0.33		-	<b>4.2</b>
<b>2</b>	<b>地域環境への配慮</b>			<b>3.4</b>	0.33		-	<b>3.4</b>
	2.1 大気汚染防止	省資源	燃焼機器の使用なし	<b>5.0</b>	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理	-	<b>3.0</b>	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	2.0	0.25		-	
<b>3</b>	<b>周辺環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.33		-	<b>2.7</b>
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	
	1 騒音		-	3.0	1.00		-	
	2 振動		-	-	-		-	
	3 悪臭		-	-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	
	1 風害の抑制		-	3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		-		-		-	
	3 日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			<b>1.6</b>	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	1.0	0.70		-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要		BEE	1.0	BEEランク	B+
建物名称	(仮称)札幌月寒計画新築工事				
建物用途	物販店・工場				
延床面積	9,677.1 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★★☆	
	緑化	★★☆☆☆	
	雪処理	★☆☆☆☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー ( 最高点 22.9 最低点 7.1 )				合計	17.8点 / 22.9点
Q1 温熱環境	スコア	0.1 / 0.6	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.5 / 4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.4 / 2.3	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 / 2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0 / 10.0
			LR1 効率的運用	スコア	1.6 / 4.0
B 省資源等 ( 最高点 23.9 最低点 7.7 )				合計	16.2点 / 23.9点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.4 / 9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.5 / 2.5	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 / 1.9
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.2 / 5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	3.1 / 4.4
C 緑化 ( 最高点 16.6 最低点 3.3 )				合計	5.3点 / 16.6点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.0 / 5.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5 / 2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	1.3 / 6.6			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.5 / 2.5			
D 雪処理 ( 最高点 3.0 最低点 0 )				合計	0.0点 / 3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 / 2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数